

# 1 基本的な考え方

## 目的

急速な人口減少・高齢化に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、まち・ひと・しごと創生法が制定され、国をあげての地方創生への取り組みが始まりました。

戸田市の総人口は、1985年のJRの埼京線開通以来、増加を続け、当面は増加し続けると予想されていますが、人口構造は今後急激に変化することが見込まれています。

こうした状況下において、戸田市に見合った人口展望の実現、社会情勢を捉えた地域経済の発展及びまち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指し、将来にわたって活力ある豊かな地域社会を持続させていくために、「戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「戸田市総合戦略」という。）を策定します。

## 位置付け

戸田市総合戦略の策定に当たっては、まち・ひと・しごと創生法に基づくとともに、国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案し、別に策定した「戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る人口ビジョン」（以下「戸田市人口ビジョン」という。）に掲げる将来展望の実現に向けた考え方や目標、取組等をまとめました。また、市民、議会及び行政のほか、より幅広い意見を戸田市総合戦略に反映させるため、産官学金労言等の委員で構成されるまち・ひと・しごと創生総合戦略検討会議（以下「検討会議」という。）を開催し、同会議からの提言書を最大限尊重しながら策定を進めました。

戸田市は、幸いにして今後しばらく人口増加が見込まれています。このことから、都心へのアクセスの良さを生かした、住みたい住み続けたいまちを目指し、「ひと」への取組を切り口とし、それを取り巻く「しごと」、「まち」への取組を進め、好循環を創っていくものとします。

なお、戸田市総合戦略は、戸田市の最上位計画である戸田市第4次総合振興計画（以下「総合振興計画」という。）を前提とするとともに、総合振興計画における、まち・ひと・しごとのに係る分野の取組を強化、推進していくための戦略として位置付けます。

## 計画期間

2015年度（平成27年度）～2020年度（令和2年度）  
＜6か年計画＞

## 計画の進行管理

戸田市総合戦略においては、国の総合戦略が示す各基本目標に基づき戸田市における基本目標を定め、当該基本目標の数値目標を設定するとともに、各基本目標を推進する施策ごとに重要業績評価指標（KPI）を設定し、その効果を客観的に測定できるようにします。

また、庁内組織である戸田市まち・ひと・しごと創生本部の下、担当部局において取組の推進を図るとともに、定期的（年度末を目途）に取組を検証し改善する仕組み（PDCAサイクル）を確立します。

さらに、戸田市総合戦略の見直しについては、住民や産官学金労言等の幅広い関係者と連携し、人口動向や社会状況の変化に応じて検討を行い、必要に応じて実施します。

## 推進に当たって

戸田市総合戦略は、来る、人口減少・少子高齢時代においても、戸田市が持続し、発展できるよう取り組んでいく計画であり、まちづくりの主体がそれぞれの役割を果たすべく、相互が連携し合いながら、強みを生かし取り組んでいきます。